



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年8月21日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



池上彰の

聞いていいですか？

支え合う技術を社会へ

21日(日)＝1、3面

日本科学未来館の2代目館長でIBMフェローの浅川智恵子さん＝写真＝は、全盲の研究者です。プログラミングの専門学校などでの勉強を経て日本IBMに入社。視覚障害者向けにウェブページの記述を読み上げる世界

初のソフトウェア「ホームページリーダー」を開発しました。世界でも知られる研究者の一人です。研究開発を支える信念は、障害者を支援する技術でイノベーションを起こして、社会に普及させる、ということ。浅川さ

んは、視覚障害者が街を自由に移動できるように「AI（人工知能）スーツケース」も開発しました。対談では、館長としての目標や、障害のある人をサポートする技術などについて語り合いました。



特集ワイド

50年後も続く 偏見社会

24日(水)＝夕刊特集ワイド面



1974年、ウーマン・リブ運動家の米津知子さん＝写真＝は「身障者を締め出すな」と叫びながら、絵画「モナ・リザ」にスプレーを噴射しました。右足に障害のある米津さんは、展覧会が「付き添

いを必要とする方」の入場を拒否したことに抗議しました。米津さんの評伝を書いた障害者文化論の研究者、荒井裕樹さんへのインタビューから、50年後も続く偏見のある社会を問います。

砲撃で破壊された車や建物＝キーウ郊外で



旧統一教会との関係 世論はどう見る

22日(月)＝2面

毎日新聞と社会調査研究センターが全国世論調査を実施しました。岸田文雄首相が行った内閣改造・自民党役員人事の評価や、自民党と世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の関係に問題があったと思

うかなどについて質問します。銃撃されて死亡した安倍晋三元首相の国葬実施の賛否、旧統一教会の問題が表面化したことで安倍氏に対する評価が変わったかどうかなどについても尋ねます。



安倍晋三元首相が銃撃された事件から1カ月を迎えた現場

ウクライナ 侵攻

突然の戦禍から半年

24日(水)＝1、2、3面

ロシアによるウクライナ侵攻から今年24日で半年を迎えます。ロシアに占領された地域に住んでいた人たちは、どのようにして逃げ出したのでしょうか。また、女性の兵士たちはなぜ武器を取る決意をしたのでしょうか。突然に侵攻されたことから、人々はロシアにどのような思いを抱くのでしょうか。これらの問題を取り上げた連載を始めると共に、現地情勢やウクライナを支援している米国の戦略なども分析していきます。

新毎日

150

2022年2月21日 毎日新聞創刊150年

ト「特集トリプル」でいつも卓球を盛り上げていきますので、ぜひご覧ください。(渡部竜之介)

